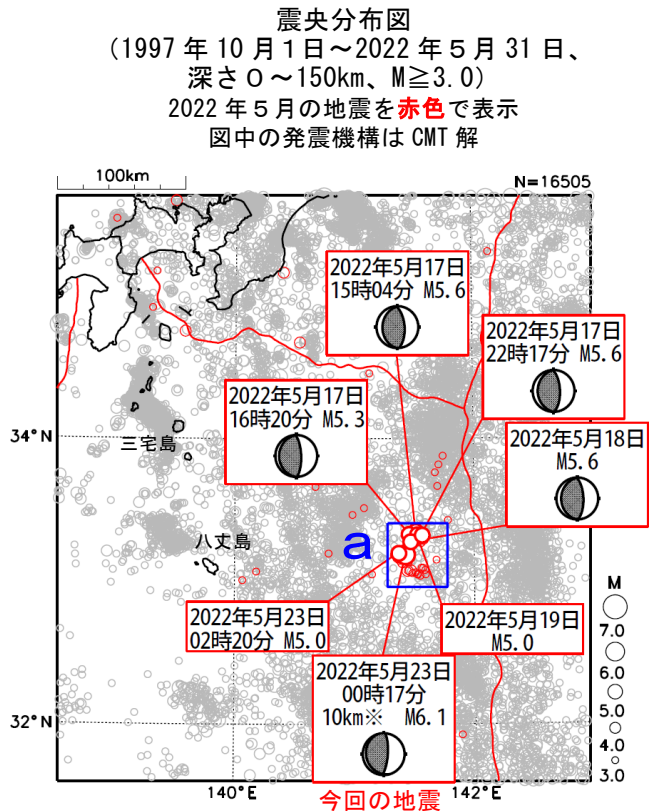


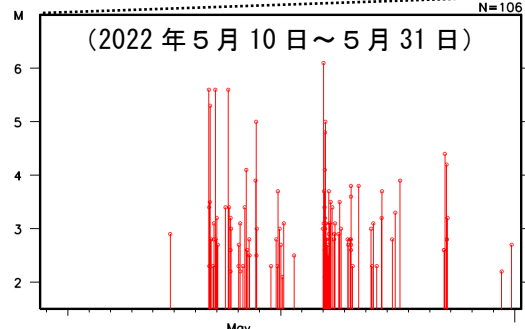
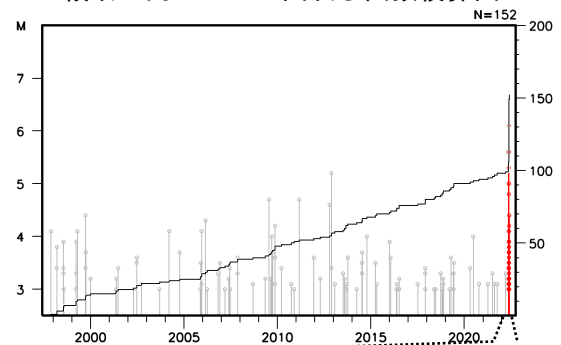
5月23日 八丈島東方沖の地震（5月17日からの地震活動）



2022年5月23日00時17分に八丈島東方沖の深さ10km（CMT解による）でM6.1の地震（最大震度1）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震の震央付近では、5月17日から地震活動が活発になり、31日までにM5.0以上の地震が7回発生している。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M4.0以上の地震が時々発生している。

領域a内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。1972年2月29日のM7.0の地震（最大震度5）では館山市布良で最大23cm（平常潮位からの最大の高さ）を、また同年12月4日のM7.2の地震（「1972年12月4日八丈島東方沖地震」、最大震度6）では串本町袋港で最大35cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した。また、これらの地震により、八丈島で道路・水道の損壊や落石等の被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図

